

# おうとう

第 22 号  
文責日高洋子



## 新年あけまして

## おめでとうございます

あけましておめでとうございませう。2025年が静かになりました。始業式では、子ども達に「勉強を頑張ろう」という話をしました。子ども達も大人になって、就職をする頃、世の中は様変わりしているだろうと言われています。10年前にはやっていたもの、使っていた

電化製品、考え方は、やはり言葉など、今では通用しないものが多いです。子ども達はそのような世の中を生きていくのです。自分の足で立って、歩いて行くのです。そのためには「誠の人」を胸に強く生きていく力が必要です。あらゆる課題を解決する力はもちろん、自分



校門には校務員の千代田さんお手製の立派な門松が...

で何かを創造する力などです。しかも、それらを自分からも求めて行くことが重要です。そのため基礎学力を身に付けましょう、という話を始業式で行いました。3学期はどの学年も、しっかりと学力を身に付けさせたいです。学習は学校だけでなく自宅での学習も大切です。御家庭でもメディアコントロールなどの御協力を！

## 新年の抱負

始業式での発表から



ぞ頑張る「学習」「学校生活」を頑張り！  
生徒で「学習」「学校生活」を頑張り！  
全校生徒で「学習」「学校生活」を頑張り！

始業式では各学年から3学期の抱負が発表されました。1年生の大坪碧仁さんは2学期の反省を踏まえて「習たり前のことを当たり前にやる」と、また胸を張って先輩と呼ばれるようになりたいと語ってくれました。2年生の田中耀さんは「3年生へのゼロ学期」を意識したい、と発表してくれました。1月末には職場体験がありますが、体験によって得られるものは大きいと期待している様子を話してくれました。3年生は中里莉望さんが受験生らしく、勉強を頑張りたい、卒業までをしっかり生活したいと話しました。3人の発表は、聞いている全校生徒一人ひとりを納得させるもので、頼もしく思いました。ぜひ、有言実行で、3学期を充実させてほしいと願っています。

## 小さなことから...

積み重ねは無駄にはならない

毎年お正月は、箱根駅伝を見ながら、長崎県出身の選手を応援することが恒例となっているのですが、今年は五島南高校出身の川原琉人さんが1年生で順天堂大学の5区を走るというのでいつもとは違って力が入った箱根駅伝でした。終盤にはシード権内にいた順天堂大学でしたが、最終的にはシードがない1位でゴール。しかし、そもそも10月の予選会も最後の1枠を一秒差で勝ち取って、本戦出場したとのこと。1位はみごとな走りだったのでないでしょう。来年も予選会からの出場を目指すことになるようですが、順天堂大学の選手のみならずの「小さなことでも、積み重ねは無駄にならない」を体現してほしいと思います。

## 退職のお知らせ

1年C組の担任をしておりました、山本朋子教諭ですが、12月26日付で退職しております。本年4月4日から勤務し、約9か月間という短い期間でしたが、特別支援教育に力を注ぎ、子ども達も慣れてきたところでした。急なことだったという点と、冬休みが重なり、子ども達にあいさつができずに残念がっていました。また、保護者の皆様や地域の方々へのご挨拶もできず、申し訳ありません。本人も大変心苦しく思っております。今後は、五島市内の学校で勤務するかどうかになります。嬉しです。

## 校長室から

今年の干支は巳(へび)です。へび年は「再来 未来がある」「再生、変化と進化の象徴」といった意味があるそうです。2025年は始まったばかりです。新しい自分の挑戦することや、新しいことを始める、今やっていることをリセットしてみる、そんなことを考えて一年の計画を立てると良いのかもしれない。新学期に向けて掲示板に次のような言葉を書きました。【新しいことに挑戦することにもっとも大切なことは、現在の自分の能力を考慮して、できるか、できないかを予測することではなく「やる気」があるかないかである。これを忘れてはならない。(斎藤茂太)】新しい挑戦にふさわしい一年なのかも...